

城山中学校改築基本計画の概要をお知らせします。

1. 計画策定の趣旨

現在の城山中学校校舎は、昭和48年から昭和49年にかけて、屋内運動場は昭和51年から52年にかけて建設され、建築後40年以上が経過していることから施設の老朽化が進んでいる状況です。生徒の安全や学習環境の刷新を図るため、全面改築することとしています。

城山中学校は、福岡教育大学に近接し、交通利便性が高く、歴史ある地区に位置しています。加えて地域のつながり、人と人とのつながり強いなどの地域特性を活かした新しい城山中学校を実現するため、基本計画を策定しました。

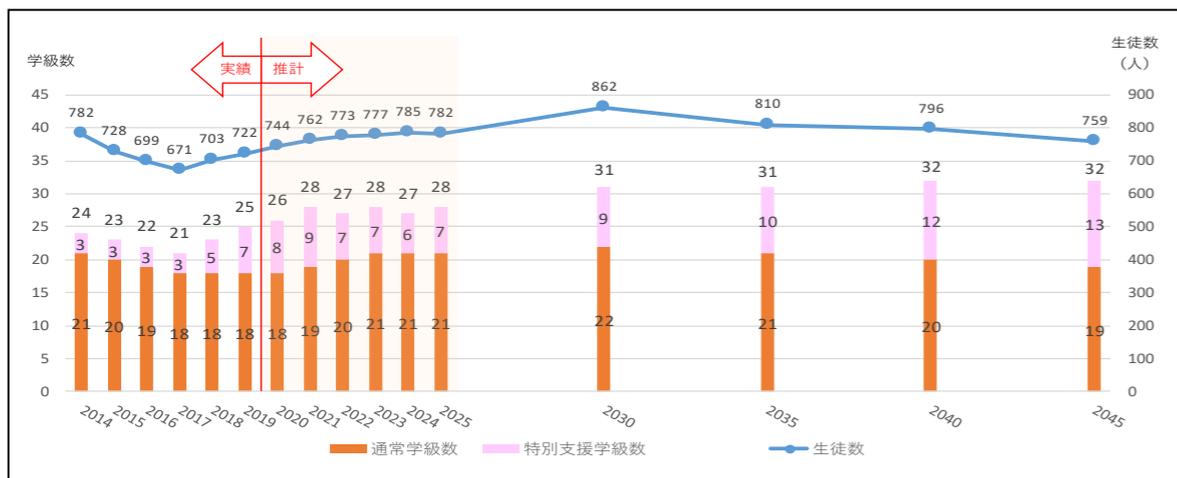


城山中学校（現地建て替え）

2. 生徒数の推計

城山中学校の過去6年間の生徒数及び学級数の推移と、将来推計をみると、2017年度以降年々増加傾向にあり、2025年度（令和7年度）には782人、21学級となる見込みです。生徒数は2030年度にピークをむかえ、その後減少傾向になる見込みです。

年度	2019年度	2025年度	2030年度
生徒数	722人	782人	862人
通常学級数	18学級	21学級	22学級
特別支援学級数	7学級	7学級	9学級



3. 施設規模の想定

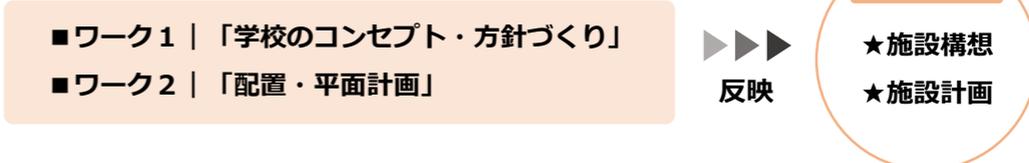
- 住居表示：宗像市陵厳寺一丁目13-1
- 敷地面積：32,078㎡
- 建ぺい率：60%
- 容積率：200%
- 校舎階数：4階建て
- 計画諸室：普通教室21室
特別支援学級7室
特別教室 ほか



現在の城山中学校

4. ワークショップ（詳細は改築だよりVol.6参照）

基本計画策定のため、生徒や先生、保護者や地域住民代表者の協力により、全5回のワークショップを開催しました。ワークショップでは2つのワークを通して、学校・地域に対する想いを共有し、新しい学校づくりに関する「意見」や「想い」を話し合っていました。頂いた意見は、基本計画だけでなく今後の改築事業にできるだけ反映していきます。



5. 施設構想

ワークショップで頂いた意見や想いを受け、5つの「整備コンセプト」と、それらをまとめるキーワードである「コンセプトタイトル」を施設構想の中心に据えました。

《コンセプトタイトル》

「歴史」「文化」「人」が繋がる城山中学校

新しい学校づくりでは、恵まれた立地条件と地域特性をいかし、生徒同士、先生と生徒、学校と地域、地域相互が繋がる空間づくりを行い、教育環境の向上を図るとともに地域の拠点となる「歴史」「文化」「人」が繋がる城山中学校を目指します。

- 校舎棟には、中庭や共用廊下などで、クラスや学年を超えたつながりがもてる空間をつくります。
- 自然豊かな城山や歴史ある赤間宿に視線を向けることができる空間をつくります。
- 体育館、地域連携室、多目的室などの地域開放施設は、大学や地域との交流を深めるため、多様な使い方に対応できる空間とします。

《5つの整備コンセプト》

1. 「安全・安心・バリアフリー」

- 正門の位置を変更することで、より安全な通学路の設定を行うと共に、歩車動線の整理を行うきっかけをつくります。
- 安全な学校運営のため、校内及び敷地内のバリアフリー化を進めます。

2. 「歴史・教育・交流・交通・災害時の拠点」

- 多目的室など、体育館以外に人が集まれる場所づくりを行い、地域連携や災害時の拠点となる施設づくりを行います。
- 福岡教育大学との教育連携強化及び令和7年度開校予定である県立特別支援学校との連携推進につながる学校とします。

3. 「豊かな自然・赤間宿になじむシンプルな校舎」

- 赤間宿になじむ、歴史感がある空間づくりを行うと共に、城山の木を材料とした、木質感あふれる空間づくりを行います。
- 将来の教育環境の変化や、学校へ求められるニーズの変化に対応しやすい、可変性のあるシンプルな校舎を計画します。

4. 「生徒・先生が、のびのび過ごせる」

- コンパクトかつ効率的な動線等使い勝手のよい施設をつくり、生徒・先生が快適に過ごせる学校とします。
- 生徒がのびのびと活動できる充実した運動施設を持つ学校とします。

5. 「地域とのつながり」

- 地域開放できる部分を持つ学校づくりを心掛けます。
- 屋内運動場棟を正門側に配置するなど、地域開放時に利用しやすい平面・動線計画に配慮します。
- 地域と学校が繋がり、ともに学ぶ学校とします。

6. 施設計画

《配置計画と施設構成の方向性》

- ・ 工事中の学習環境への配慮と工期短縮のため、現在のグラウンド側（東側）に校舎を配置します。
- ・ メイングラウンドは現在の校舎棟エリア（西側）に整備します。
- ・ 建物は現在のグラウンドの北側に配置します。
- ・ 敷地の有効活用の点から、校舎は地上4階建てとする重層化し、校舎棟と屋内運動場棟を一棟とするコンパクト化を図ります。
- ・ 校舎西側に将来用地をもつことで、ニーズの変化に対応します。
- ・ 正門位置は、南東の県道側に移動。敷地内での歩車分離のため、校舎南側を歩行者エリア、北側と県道側を車エリアとします。
- ・ メイングラウンド外周部を利用したランニングスペースや、テニスコートの整備を行い、運動施設の充実を目指します。



《施設ブロックの構成》

■ 普通教室ブロック

普通教室 | 南側からの自然採光を確保することで、明るく居心地の良い学習空間とします。教室後方に教育実習や研究授業などでの参観スペースを確保した平面形状とします。

ワークスペース | 少人数指導や習熟度別学習などの多様な学習形態に対応できるスペースや教職員のスペースなど、多目的な場所として利用できるような位置・形状とします。学級数の増加に対応できるように、普通教室への転用が可能な計画とします。

■ 特別支援学級ブロック

教室 | 保健室・職員室から近い位置に配置し、ひとまとまりのゾーンを形成します。

通用口 | 昇降口とは別の通用口を設置し、集団での登下校が苦手な生徒への配慮を行います。

将来拡張 | 必要クラス数の増加に伴う将来拡張を想定し、将来用地に近い場所に配置します。

■ 特別教室ブロック

理科教室 | 授業時間が多く利用頻度の高い理科教室は2階に配置します。3室のうち一つを実験用流しのないフレキシブルな理科教室とすることで、多様な授業で利用できるものとします。

音楽教室・美術教室 | 音楽教室は最上階へ設け、ひな壇形状の部屋としながらも天井高さを確保して、音の響きのよい教室環境とします。隣室に美術教室を設け、総合芸術ゾーンとして相互に高めあう空間を目指します。

家庭教室 | 調理室・被服室は、調理実習時の匂いに配慮し、また、避難時の炊き出しのしやすさにも配慮して3階に設置します。

技術教室 | 木工室と金工室を併用させたハイブリッド型教室として、音の配慮や教材の搬入の利便性から1階に配置します。

図書室・コンピュータ教室 | 近接して設け、学校図書室の学習・メディアセンター機能を強化し、生徒の利用促進に配慮します。

■ 管理諸室ブロック

職員室 | グラウンドが見えやすく、また、昇降口から近く、生徒の登下校も見える位置とします。

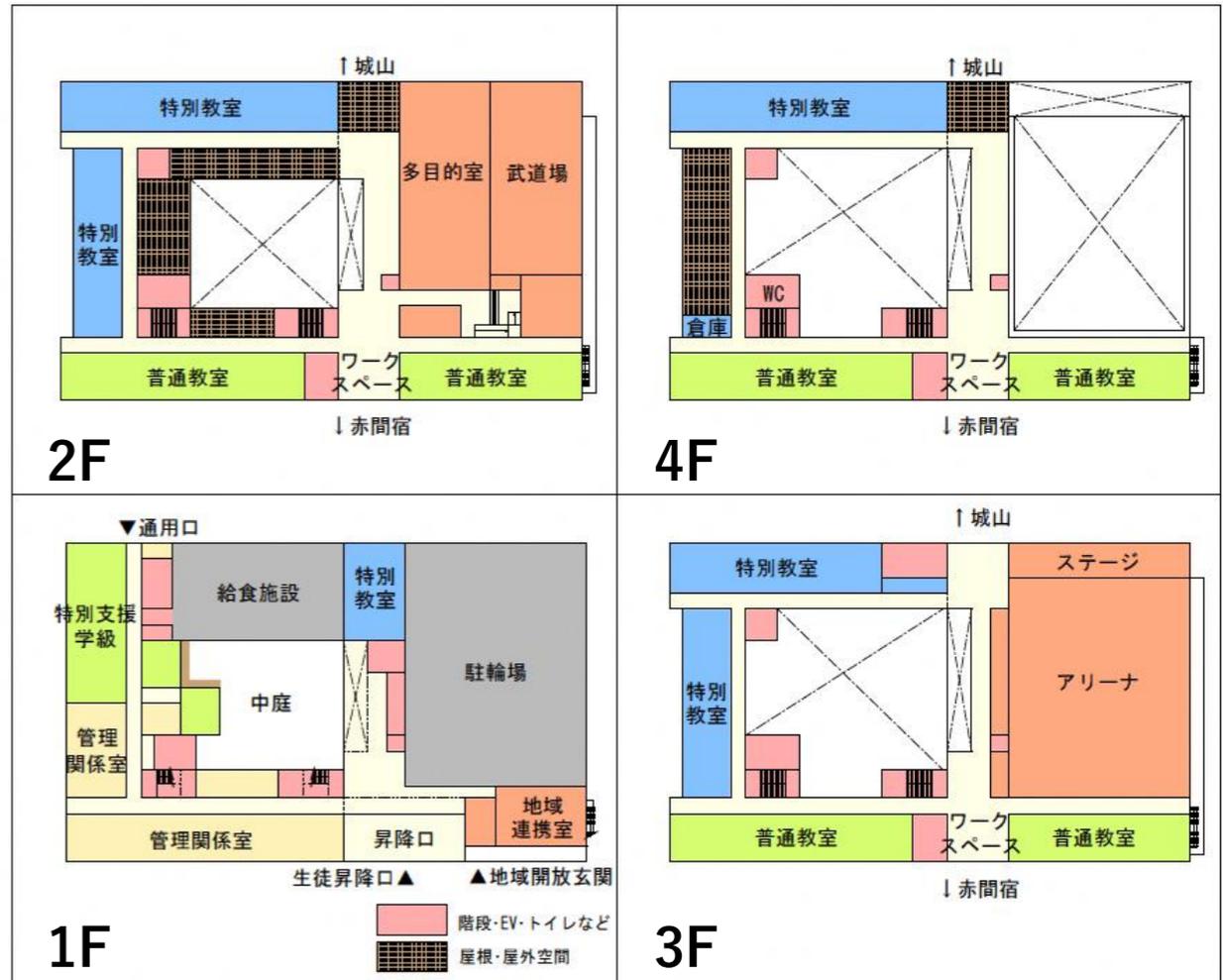
保健室 | メイングラウンドとの連携と特別支援学級ゾーンとの連絡を考慮し、校舎棟1階の西側へ設置します。

■ 給食室ブロック

給食室 | 食材等の運搬車両の利便性に配慮し、車両動線やサービスヤードに接した、校舎北側1階に配置します。

配膳室 | 給食を安全に運搬・保管するため、各階に配膳室を配置し、配膳車を運搬するためのエレベーターを設置します。

■ ブロック平面図 (例)



■ 地域開放ブロック

地域連携室 | 子育てサロンやPTA会議、大学連携時など、多目的な利用ができるように、屋内運動場棟1階に専用出入口を設けて、使いやすい場所に設置します。

多目的室 | 教育実習などの大学連携の場や、PTA総会、学年集会にも利用する事を想定した部屋とします。複数の室に分割できるように移動間仕切を設けます。

■ 駐車場

駐車場 | 教職員用として60台分、来客用として10台分程度、計70台分程度の駐車枠を設けます。地域開放時などの際は、将来用地などに駐車できるように、舗装計画を検討します。

自転車駐車場 | 生徒の約7割が自転車通学を行っていることから、500台から550台程度分の駐輪場を屋内運動場棟1階に確保します。

■ 運動施設ブロック

体育館 | 生徒数からの規模と地域の屋内運動施設として充足する大きさと機能とし、地域開放時の中心ブロックとします。災害時の避難所として利用しやすい施設とします。

武道場 | 学年集会などでの小ホールとしても使用できるように、柔剣道場を仕切らず、床段差のない室とします。

グラウンド機能 | 200Mトラック、100M直線走路、野球、ソフトボール、サッカーコート(90×60M)、テニスコート(3面)、ランニングスペースを確保したグラウンドとします。校舎南側には、サブグラウンドを確保します。

《お問い合わせ先》

宗像市教育委員会学校整備プロジェクト室
Tel : 36-9610 Fax : 37-1525
Mail : gakkoseibi@city.munakata.fukuoka.jp

《設計・工事スケジュール》

	令和2年度 (2020)												令和3年度 (2021)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
設計	基本設計												実施設計											

	令和4年度 (2022)												令和5年度 (2023)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
工事	校舎・屋内運動場新設工事																							
	令和6年度 (2024)												令和7年度 (2025)											
	校舎・屋内運動場新設工事、解体工事、外構工事												★新校舎供用開始											